

本校は2020年に設立50周年を迎えた。愛知県江南市で開校、その後、関市に移転し、すでに40年の日々を刻んでいる。卒業生は1万3千人を超え、多くの人材が航空業界で活躍している。しかし一般には、この地に航空業界で名のある専門学校があることはあまり知られていない。

私は関市に移転後間もない1983年、本校へ入学した。当時は2年課程(現在は3年課程)で航空整備士としての基礎知識と技術を学び、整備士国家資格を取得して卒業、エアラインと呼ばれる

航空業界って狭い？

中日本航空専門学校就職
キャリア支援センター長 市原敏朗



る航空会社に整備士として入社した。

大手エアラインの整備作業は基本的に自社内で完結するため、他社で活躍する整備スタッフと業務で交流する機会はありません。そんな場で35年近く勤務した後、母校で教べんをとる機会に恵まれ、学生の就職支援も兼務した。

身を転じて、航空機整備会社や製造会社の方々と会うようになると、あらためて多くの本校卒業生が各企業の第一線で活躍しているのを肌身で感じるようになった。

航空業界は広いようで狭い。特に小型航空機の運航会社は、会社間で機体整備の受委託や空港という特定の場所で業務を行う関係上、整備士同士の交流が多く、〇期卒業生の誰々が異動したとか△空港で会ったなど、卒業生の動向がしばし話題になる。航空界に石を投げれば、中日本のOBに当たるといった感じだ。

こんな実績がある本校も、ここ数年のコロナ禍や少子化の影響による入学生減少に悩まされているが、当欄では、夢を持つ航空業界を目指す在校生の様子や頑張りも紹介していきたい。